

Candle Night @ Shinjuku Central Park 開催に向けた意見交換会

期間：

2021年11月17日

参加者数：

22人

意見の反映方法：開催イベントのさらなる魅力付け

意見の反映予定時期：2021年12月24日、25日

設問と回答結果：

Q1：Candle Night @ Shinjuku Central Park が西新宿エリアを代表するイベントとなるためにはどのようなリアルな取り組みをしていくと良いか（回答結果は一例です。）

<シンボリック系>

- ・LEDをカラフルにしてより華やかに会場を彩る
- ・キャンドルのオブジェクトデザインを参加者の投稿によって決定する
- ・イベントを象徴する大きなオブジェクトを毎年制作する



<コンテスト系>

- ・ぬり絵のデザインコンテストを開催して入賞などを選定する
- ・街区対抗キャンドル飾りつけコンテストを実施し地域活性化を図る

<参加方法>

- ・恋人で訪れるストーリーをつくり聖地化する
- ・準備段階から地域住民の方と行い、コミュニケーションの機会を創出する

<地域連携>

- ・地域学校の合唱団、合唱サークルイベントを実施して地域連携を図る
- ・地元のパフォーマーによって昼も楽しんでいただける工夫を凝らす

<実施場所>

- ・高層ビルにキャンドルを設置してまちの各所でもイベントを楽しんでいただく
- ・新宿駅からの道をキャンドルで彩り、より幅広い方に参加していただく機会を創出

設問と回答結果：

Q2：Candle Night @ Shinjuku Central Park が西新宿エリアを代表するイベントとなるためにはどのようなデジタルの取り組みをしていくと良いか（続き）

<XR関連>

- ・ARによって灯籠上げのような演出で会場を華やかに彩る
- ・各地にいる人がVRでイベントに参加できる
- ・バーチャル会場を用意し、家にいながら世界中の人とキャンドルを灯せる

<プロジェクションマッピング>

- ・地面にプロジェクションマッピングで演出し会場の広さを最大限生かす
- ・高層ビル群にプロジェクションマッピングをして高層ビル群の魅力に気づいてもらう機会を創出する

<AI、ロボット>

- ・巡回ロボットを通じてロボット目線でキャンドルを楽しめる
- ・ロボットが自分の描いたぬり絵を察知して教えてくれる
- ・AIで似ているぬり絵を描いた人同士をマッチングできる

<ドローン>

- ・ドローンを使って現地に行かなくてもキャンドルを会場に置くことができる
- ・ドローンアートによって上空までも彩る

<ゲーム性>

- ・キャンドル点火チームと消火チームに分かれて競う等イベントにゲーム性を持たせる
- ・有名ゲームコンテンツとコラボレーションしてより認知度を向上させる
- ・オンラインサイトで一定数以上のいいねが集まるとユーザーに豪華プレゼント等

<分析>

- ・デジタルサイネージを使って属性を分析し来年度以降の施策に生かす
- ・参加者の滞留場所や、場所ごとの滞在時間の傾向を分析する